帰ってきたウルトラマン～卒業生へ校長通信～

校長　夏目　利江子

今日は、卒業生の皆さんへ、帰ってきたウルトラマンの話をします。「返ってきた」のではありませんよ。「帰ってきた」のです。オリンピックで盛り上がるはずだった今年、2020年。楽しいことがいっぱいあって、部活動の大会をいっぱい応援して、長沼の行事で感動をいっぱいもらうはずだったのに。今までも経験ありますが、世の中には、「想像を絶する」とか「想定を遙かに超える」ということがたくさんあります。今年は、そういう言葉と数字がピッタリ当てはまる年でした。新型コロナウイルス、困ったものです。が、しかし、私達人類はこういう危機を何度も克服してきた歴史があります。大丈夫です、これからも。だって、君たちのような素敵な未来が居てくれるから・・・。私を勇気づけてくれた朝七時と午後五時半。長沼のスピーカーから、午後5時半に、このメロディが流れます。

♪　君にも見える　ウルトラの星。 遠く離れて地球に一人。 怪獣退治に使命をかけて　燃える街に　あとわずか。
　　とどろく叫びを耳にして　帰ってきたぞ　帰ってきたぞ　ウルトラマン　♪

私が幼い頃、放送されたウルトラマンシリーズ。当時は録画なんてできない時代、友達との会話に遅れないために、一生懸命見た記憶があります。この歌詞がなぜか、すごく大好きでした。きっと「使命」とか「燃える」とか、子どもながらに、そういう言葉に惹かれたのかもしれません。長沼高校勤務となり、またこのフレーズを繰り返すとき、私の使命はなんだろうとか、私はあと何年生きるのか、とか、そんな人生観をゆっくりと考える時間にもなりました。そして、ドリフターズのコントが楽しかった「8時だよ、全員集合」。土曜日の8時には必ずテレビの前にスタンバイ。まさか、あの志村けんさんが他界するなんて。「8時だよ、全員集合」を知っている私にはとても悲しい出来事でした。人は皆、有限だと改めて実感しました。時は流れ、時代も変わりました。伝統ある長沼高校にお世話になり、皆さんと将来の統合計画に携わるなんて、夢にも思いませんでした。人生とは不思議なものです。運命も宿命も、誰かが「人生を動かし流している」のではないかと思うほど、激動の人生。波瀾万丈喜怒哀楽の人生を半分以上生きた私は、これから輝く将来が待っている卒業生の皆さんを見ると羨ましくも思います。長沼町に住んで、改めて耳にする、帰ってきたウルトラマンの歌詞とメロディは、私に、今までの人生を振り返り反省し、そしてさらに、そこから進むべき指針を教え示してくれたように思います。ピンチはチャンス。トラブルは成長の鍵。失敗と書いて経験と読む。人は配られたカードで勝負する。否定する勇気と肯定する覚悟。屋根が広ければ積もる雪も多い・・・・・。あの頃、当時の生徒の皆さんに伝えた数々の言葉は、却って皆を苦しめはしなかったか、いま一度、深く反省する私でした。卒業生の皆さん、これからの長沼をよろしく頼みましたよ。たとえ一端離れても、「長沼に帰ってきて」下さい。無限の自然界と協働しながら、私達人間の知恵を結集し、幸せと笑顔の町にしましょう。私達の心のふるさとである長沼で、どうか幸せになって下さい。永遠の藤沼湖、奇跡の紫陽花、輝く母校長沼高校。卒業生の皆さん、いつまでも、末永くお元気で。やよい、ついたち、さようなら。